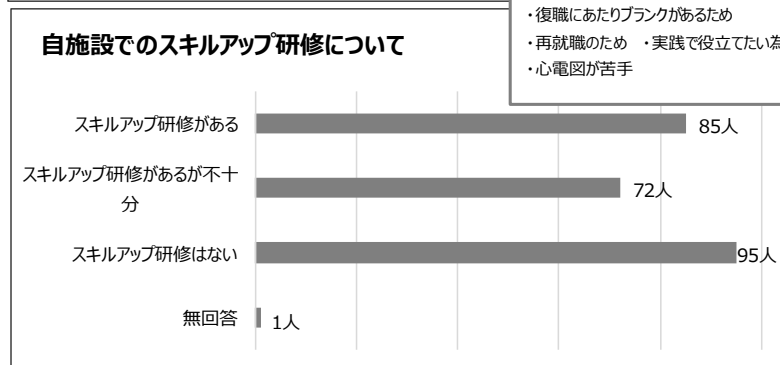
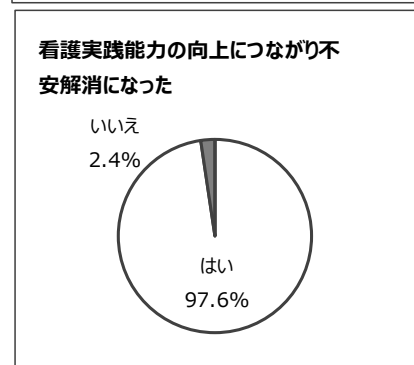
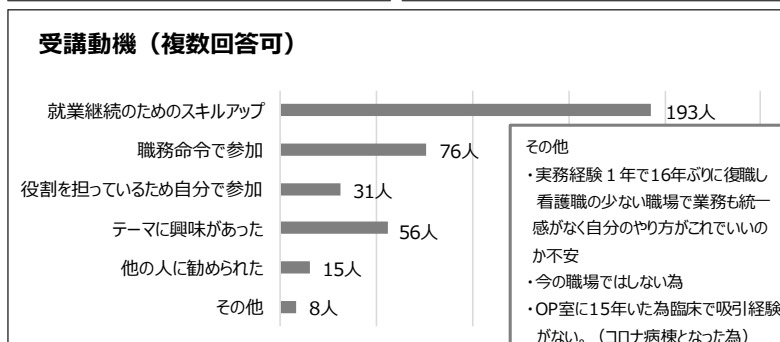
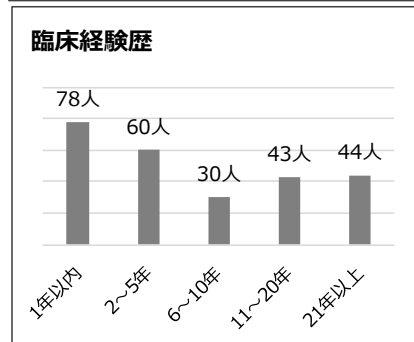
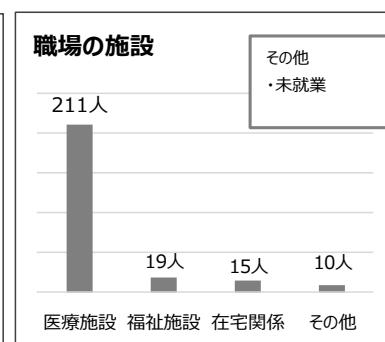
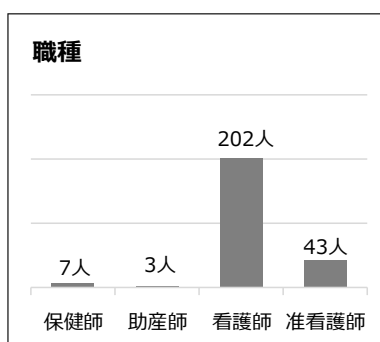
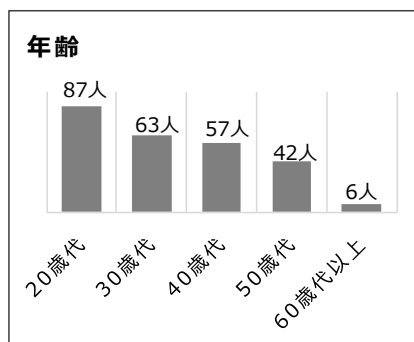
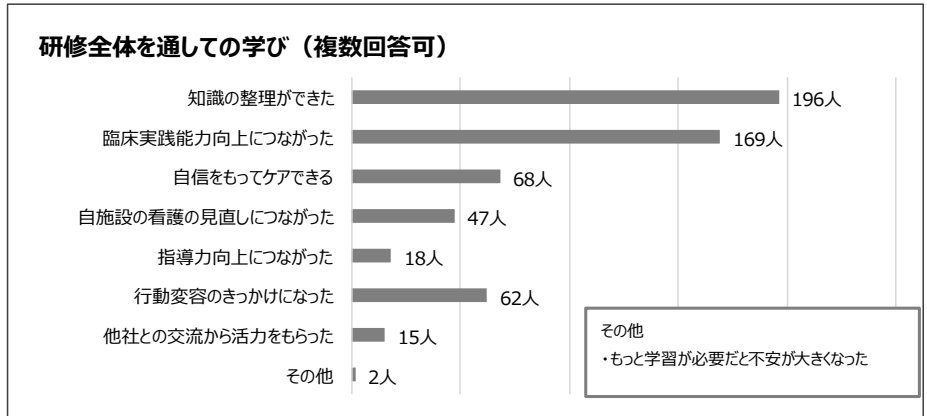
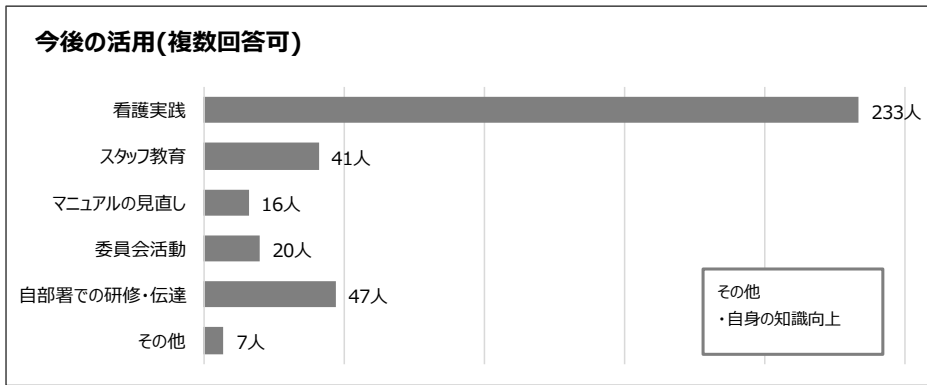
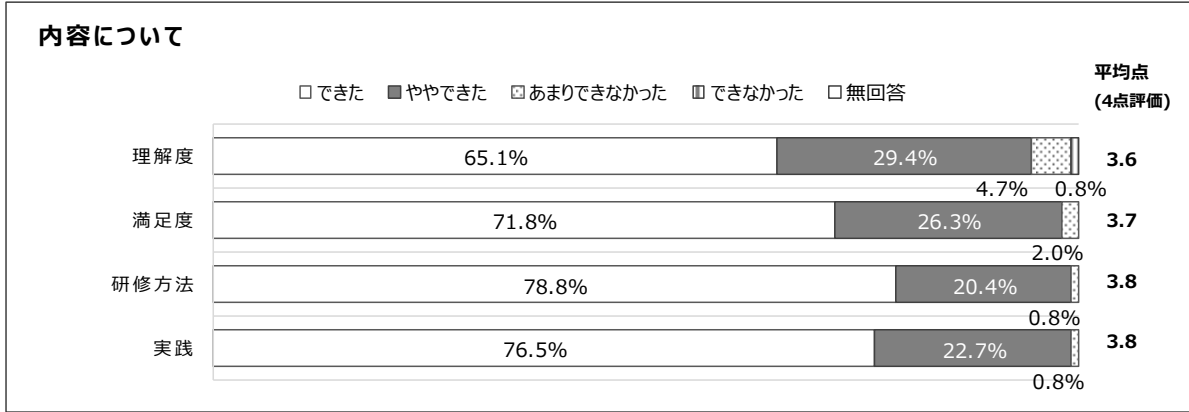
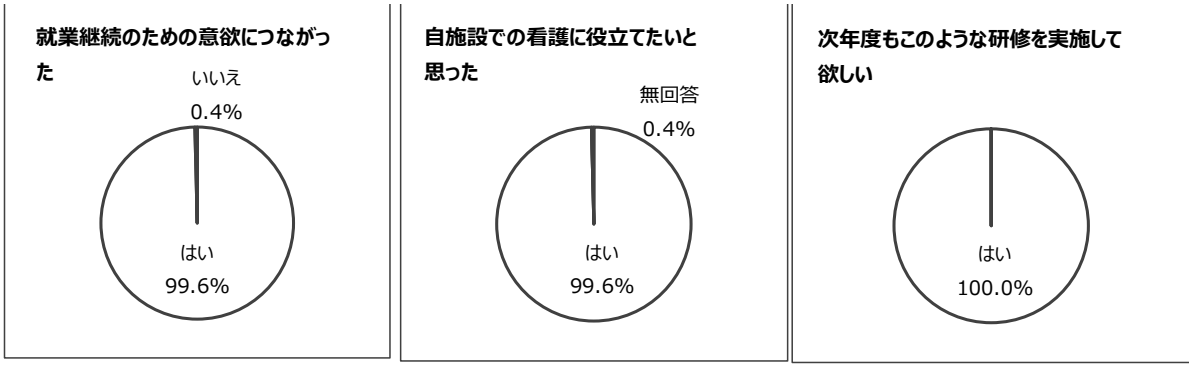


看護スキルアップ研修

目的：臨床実践能力の向上・専門職としての自立・施設での役割を推進する。

開催日	研修内容	受講者数	会場
7/15(土)	観察・報告	21名	看護キャリア支援センター
8/12(土)	排痰・吸引	22名	看護キャリア支援センター
8/19(土)	褥瘡ケア	34名	看護キャリア支援センター
9/9(土)	採血・筋肉注射・静脈注射	26名	看護キャリア支援センター
9/16(土)	排泄ケア	25名	看護キャリア支援センター
10/14(土)	チームワーク	18名	ながさき看護センター
10/20(金)	心電図	57名	看護キャリア支援センター
11/11(土)	感染管理	27名	ながさき看護センター
12/9(土)	ベッドサイドリハビリ	25名	看護キャリア支援センター





受講者数	255人
回答者数	255人
回答率	100.0%

※割合の合計は四捨五入の関係で100%とならない場合もあります。

所属施設 地区別

	病院	クリニック	福祉施設	その他	計
県南	13	4	5	2	24
県央	74	8	12	9	103
県北	103	7	11	3	124
離島	2		1		3
県外				1	1
計	192	19	29	15	255

<評価>

幅広い年齢層からの参加が多く、「スキルアップのため」が最多の受講動機であった。アンケート結果から、看護実践能力の向上と不安解消に大きく寄与したことがわかり、「内容がわかりやすく、学びを活かしたい」など、知識と臨床実践力の両面でスキルアップが実感されており、経験豊富な層から新人層まで幅広いニーズに応えられた。

また、就業継続への意欲向上や行動変容のきっかけにもなっており、離職防止と現場定着の促進効果が評価できる。さらに、「職場で活かしたい」「自施設でスタッフ教育に用いたい」など、自施設での看護実践に活かしたいという高い意欲があり、施設内の看護の質向上も見込まれる。

本研修は、新人看護職員への実技研修の一役も担っており、未経験者にとってモデル演習は、技術習得と不安解消になったとの意見が多数みられた。

施設内研修が不十分な施設では、本研修への継続ニーズは高く、スキルアップ、不安解消、離職防止・定着促進、看護の質向上、研修機会増加という目的を総合的に達成できる研修として評価できる。

<課題と今後の取り組み>

次年度もニーズに応えられる研修テーマの検討を行うが、受講機会拡大のため、諫早会場でも同じテーマで研修を計画する。また、研修受講者の習熟度に応じ理解度に差が見られたため、同じテーマでも習熟度に応じた内容で計画を進めていく。